

第5学年1組 道徳学習指導案

日 時 平成25年10月3日(木) 13:10～13:55
場 所 附属小 5年1組教室
指導者 西 大 輔

本授業の主張点

展開前段で考えた福本さんの役割と責任の気持ちを「波紋タイム」で振り返り、道徳的価値に関わる心を他者と共有するか、自己選択・決定させ、自ら整理していく中で、児童一人一人にも目に見える・見えない役割があることに気づかせ、主体的にその役割を行いたいと感じる児童をめざします。

1 授業名 見つめよう自分のこと・周りの人のこと！

2 授業の目標

自他の存在に関わることについて話し合っていく中で、今の自分や周りの人を見つめる機会をつくり、今後の生活に、謙虚に自分のあるべき姿を生かしていこうとする実践意欲・態度を育む。

3 児童の実態に応じた授業と授業構想について

本学級38名の児童は、一人一人が大切にされながら日々健やかに学校生活を送ることができている。これも、よき家庭生活の賜物であり、保護者や家族の温かい関係があるからだと感じられる。一方、様々な学校行事等の活動場面で、活躍したい心はもち合わせながらも、一歩踏み込む積極性が見られないことが多々見られる。これは、性格、これまでの生活や環境、遠慮という日本人の美しい心等、理由として挙げられるだろうが、自分の存在の意味について深く考えた経験がないことも理由に挙げると考えている。

児童に「①実行委員や班長、リーダーになる」、「②自分の思いをはっきり伝える」等、自分の存在価値に関わると思われるアンケートをいくつかとっている。結果は、①が「できる19人、できない19人」、②が「できる25人、できない13人」であり、児童一人一人に自信をもたせてあげたいと感じた。

「人は、ただ生きているだけでその役割を全うしている」と、ある映画監督が話していた。その役割にはどのようなものがあるのかをこの単元で見出すきっかけとしていきたい。そのため、思春期に入るのであろうこの時期に自分自身を様々な角度から見つめる機会をつくっていくために、いくつかの道徳的価値項目を関連付けた授業を構想することにした。

【本時】

主題名 自分ができることを
4-(3)役割・責任
資料名「どこかでだれか
が見てくれる」

ねらいの概略

身近な集団の中で、自分の役割を自覚していこうとする意欲や態度を育む。

【10月中旬実施予定】

主題名 節度をもって
1-(6)向上心・個性伸長
資料名「トマトとメロン」

ねらいの概略

よさについて考えていく中で、自分のよさや他人のよさに気づこうとする心を育む。

【10月下旬実施予定】

主題名 考え方のズレ
2-(4)寛容・謙虚
資料名「すれちがい」

ねらいの概略

立場の違いについて話し合っていくことにより、相手のことも考えようとする心を育む。

自他の存在を見つめようとする心

【9月25日実施】

主題名 命の唯一性と神秘性 3-(1)生命尊重

資料名「奇跡」

ねらい 自分の命は一つしかなく、神秘性があることに気づく。

授業構想図（実施期間9月下旬～10月下旬）

上記の授業構想図は、「1. 主として自分自身に関すること」、「2. 主として他者のことに関すること」、「3. 自然や崇高なものに関すること」、「4. 集団や社会に関すること」（4つの視点）の価値項目を網羅した授業のつながりを表したものである。自他の存在を見つめるためには、命の唯一性や神秘性について考えていくことが大切であると思い構想の根底に据えた。そこを礎として、3時間の授業において児童と話し合っていく、自

他の存在を見つめようとする心を育んでいきたい。

本研究の視点である展開後段において全体で価値の自己選択・決定、自己整理を行う場（波紋タイム）を設け、道徳的実践意欲・態度を育むきっかけとしていく。

4 主題名 自分ができていることを 4-（3） 役割・責任

5 資料名 「どこかでだれかが見ていてくれる」 出典：5年生の道徳【ぶんけい】画像資料へ改作

6 主題設定の理由

○ ねらいとする価値について

人は、周りの人々と様々な関わりをもちながら日々を過ごしている。その関わりは、成長するにつれて、グループや少人数で広がったり深まったりする。これは、自然なことであり、普段はあまり意識していないことである。

周りとの関わりを考えていくと、様々なことが明らかになり、役割や責任にも気づくことができる。集団生活の中には、必ず、一人一人に応じた役割が生じる。無意識で進める役割もあれば、意識した役割もあり、意識した役割の中では、責任が生じる。自分の役割は何なのか、あえて意識化させ、自分の役割を主体的に行おうとする心に気づかせたい。

思春期に入る時期に、役割・責任について自分を見つめることは、他者も同じであることを意識することにも広がり、大きな意味があると言える。

○ 児童の実態と価値意識について

本学級の児童は、男女仲良くし、高学年として様々な活動を協力して行い、関係性を広げつつある。学校外では、多くの児童が習い事をしており、様々な学校の児童や大人と接する機会も多い。

一方、地域の行事に参加する機会が少ないため、人と接する機会を失い、自分の気持ちをはっきりと伝えることができない児童も少なくはない。

このような背景で、自分に自信をもてず、殻に閉じこもり、自分の思いを言えない児童、リーダー性を感じるのにも関わらず、一歩引いて発言する子等が、学級や学校行事の中でも、度々見られる。これらは、一人一人に役割があり、それらを行っていかうとする心に気づいていないからだと思われる。

自分の役割を感じ、行っていかうとする心を感じ、最上級生に向けて一皮むけてほしいと願っている。

○ 資料について

本資料は、時代劇映画の斬られ役として多忙な活動を続ける福本清三さんの話である。福本さんは、大俳優の萬屋錦之介さんに仕事を認められ、そこから自分の仕事に誇りを持ち、独自の斬られ方を考案し、2003年にハリウッド映画に出演、公開され、世界中にその名を知られることとなる。

誰にでも目に見える・見えない役割があることについて、またそれを主体的に行うことの大切さについて話し合っていくことに適した資料である。この資料を画像化し、写真などを活用して、より児童が考えやすいものにする。

○ 指導の重点

時代劇の画像を見せることで児童の興味関心を高めたり、発問を表示することで板書の機会を減らし、児童と指導者の関わりを多くしたりするため、電子黒板を活用し、写真や発問を提示する。

導入では、話し合いの中心となる主役と脇役の映像を提示し、本時の資料への導入を図る。

展開前段では、福本さんの気持ちを中心に考えていく。主役も大切であるが、脇役も主役を引き立てるために大切であることに気づかせていきたい。また、その役の大切さを知ることにより、責任が生じ、主体的に工夫して脇役を行おうとする福本さんの気持ちに寄り添わせたい。そのような役割に気づき、役割を成し遂げようとする福本さんの気持ちに寄り添わせたい。そのような役割に気づき、役割を成し遂げようとする福本さんの気持ちに寄り添わせたい。そのような役割に気づき、役割を成し遂げようとする福本さんの気持ちに寄り添わせたい。

展開後段では、次のような手順で、ねらいとする価値の自覚を促す活動「波紋タイム」を行う。

- ① 今日学習した価値を主体的に自覚させるために、『サンキューシート』の波紋部分を活用する。
- ② 多様な価値にふれさせるために、波紋中に記述した心（こと）について学級全体に紹介させる。
- ③ 自己の大切だと感じた心（こと）と共有するか選択・決定させ、今後の自分について書かせる。

終末では、児童一人一人にも、目に見える役割や目に見えない役割があり、それを主体的に行いたいと感じさせるために、電子黒板で学級の普段の様子を写真で見せたい。

7 本時のねらい

40年間、斬られ役として活躍してこられた福本さんの役者人生について話し合うことにより、自分にも役割があることに気づかせるとともに、その役割を主体的に行いたいという心を育む。

8 展開 []は研究の視点部分

	学習活動と内容	○主な発問・予想される反応	・指導上の留意点『ワークシート』 期待される児童の変化（教師の願い）
導入 展開 前段	<p>1. 主役と脇役について話し合う。</p> <p>2. 画像資料「どこかでだれかが見てくれる」をもとに話し合う。</p> <p>(1) 脇役を続けている福本さんの気持ち</p> <p>(2) 切られ方の工夫を考えた福本さんの気持ち</p> <p>(3) ハリウッドの映画に出演が決まった福本さんの気持ち</p>	<p>○ 脇役をすることになった福本さんはどのような気持ちでいるでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分も主役になりたい ・今よりも活躍し(映り)たい ・今はとにかく頑張ろう <p>○ 切られ方を工夫しようと考えたのは、福本さんがどのようなことに気づいたからでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脇役も大切であること ・主役を盛り立てたいこと ・責任をもって役を成し遂げること <p>○ 「ラストサムライ」というハリウッド映画出演の話があった時の福本さんはどんなことを思い出したでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役を頑張ってきたこと ・どんな役も大切なこと ・役を全うするための責任 	<p>・時代劇の映像を観せ、主役の周りにはいろいろな人々や背景があることに気づかせ、本時の資料への導入を図る。</p> <p>・俳優の立場や映画やドラマ制作の背景を分かりやすくしていくために、電子黒板を活用し、読み物資料をもとにして、それぞれの場面の気持ちを話し合っていく。</p> <p>・俳優になりたい人の一番の願いに気づかせるために、番組で多く映る人はどのような良さがあるのかを考える場をつくる。</p> <p>いつかは主役になりたいと強く願っている福本さんの気持ちに気づく。</p> <p>・主役のために脇役も必要であることに気づかせるため、電子黒板上で、主役の周りから脇役をいなくする画像を見せる。</p> <p>・責任をもって役を成し遂げていることに気づかせるため、同じ役をしている人がいるか画像で確認するよう促す。</p> <p>自分の役も絶対に必要であると理解し、役を全うしようとする福本さんの気持ちを感じ始める。</p> <p>・世界から認められたことを確認させるために、俳優であれば誰もが出演したいハリウッド映画、また、世界規模の映画という説明を加える。</p> <p>どの役も大切であり、役を全うするには、こだわりをもった責任感と役をやり遂げた福本さんの満足感を感じている。</p>
展開 後段	<p>3. 自己を見つめる。 【波紋タイム】</p> <p>(1) 波紋中央部に今日学んだ価値を書く。</p> <p>(2) 波紋拡大版を使い、全体で紹介する。</p> <p>(3) 他者の価値を取り入れるか選択・決定する。</p> <p>(4) 今後の自分を整理する。</p>	<p>○ 今日、一番大切だなと思った心（こと）は何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役をやり遂げるためには責任が出てくること ・どの役も大切であること ・大きい役も小さい役もあること ・責任をもってすることの大切さ ・誰にでも何かの役があること 	<p>・今日学習した価値を主体的に自覚させるために、波紋タイムを行う。また可視化させるために『サンキューシート』を活用する。</p> <p>・多様な価値にふれさせるために、波紋中に記述した心（こと）について学級全体で紹介させる場を設ける。</p> <p>・自己の大切だと感じた心（こと）と共有するかどうかを選択・決定させ、今後の自分はどうしていきたいかを記入するよう促す。</p> <p>自分にも何か役割があつて、それを行っていきたく感じ始める。</p>
終末	4. 教師の説話を聴く。		<p>・児童一人一人にも、目に見える役割や目に見えない役割があり、それを主体的に行いたいと感じさせるために、電子黒板で学級の普段の様子を写真で提示する。</p>